

地域政策学部地域政策学科の アドミッション・ポリシー

教育内容・特色

島根県立大学地域政策学部地域政策学科は、地域社会やその関連する領域において、さまざまな地域の関係者とコミュニケーションをとりながら協力・協働し、企業や自治体、社会などの問題解決と地域の自律的・持続的発展に寄与することのできる人材を育成することを目的としています。

求める人材

求める学生像は次のとおりです。

1. 知識・技能

- (1)社会科学系の学問を学ぶ上で必要となる読解力やものの見方を身につけている人
- (2)大学における学修に必要な幅広い基礎学力や教養を身につけている人

2. 思考力・判断力・表現力

- (1)多角的な視点に立って物事をとらえ、柔軟な発想ができる人
- (2)自身の考えを明確に表現することができる人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

地域の諸課題について広く関心をもつとともに、課題の解決に取り組む意欲があり、主体的に学修に取り組むことができる人

経済経営・デジタルマネジメントコースの アドミッション・ポリシー

教育内容・特色

地域政策学部地域政策学科経済経営・デジタルマネジメントコースでは、「経済学や経営学に関する知識や考え方に基づき、行政や企業と連携する地域活動を行い、デジタル技術やデータ分析、プロジェクト管理手法などを用いて、地域経済や企業の発展に貢献できる人材」を育成することを目指しています。

この教育目的を達成するために、本コースの教育課程を通じて、以下の能力を養成します。

1. 地域の様々な主体との連携に基づくフィールドワーク等を通じて、地域や企業等の価値や問題を発見する力

2. 地域や企業等が抱える問題について、専門的知識やものの見方を用いて解決策を構想する力
3. 自分の考えをわかりやすく提示し、他者に論理的に説明する力

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 経済学、経営学、デジタル技術やデータ分析の根幹となるような基礎的・専門的な知識を確実に身につけられるように、「専門基礎科目群」及び「専門科目群」に「コア領域科目」を配置し、基礎から応用・発展へと着実に専門性を高めていきます。
2. 経済学、経営学、デジタル技術やデータ分析の専門的な知識科目に加え、「関連領域科目」として、法、政治・行政、社会学などの科目を幅広く配置することで、多角的な視点を養い、学修の効果を一層高めます。
3. 演習科目では、行政や支援機関、企業とも連携し PBL(問題解決型学習)やフィールドワークを取り入れます。
4. 卒業研究では、PBL(問題解決型学習)やフィールドワーク、デジタル技術の活用やデータ分析等を行い、地域にとって、あるいは、学術的に有意義なものを目指します。

求める人材

1. 知識・技能

- (1)経済学、経営学、デジタル技術やデータ分析を学修するために必要となる基礎学力、読解力及びものの見方を身につけている人

2. 思考力・判断力・表現力

- (1)目的をしっかりと見据え、自ら進んで考えることができる人
- (2)自身の考えを明確に表現することができる人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- (1)島根県やその他の地域の地域経済や企業等が抱える問題について関心をもち、経済学、経営学、デジタル技術やデータ分析の知識や方法を用いてその問題解決に取り組みたいという意欲をもった人
- (2)多様な人々と協働しながら学修を進めるために必要な協調性がある人

高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと

- 1.高等学校教育課程の基礎学力
- 2.自身が関心をもつことがらに関して信頼できる情報を収集し、文章や図表、統計資料等を利用して考察する力
- 3.他者の話を的確に聞き取る傾聴力と自分の考えを口頭や文章で表現する力
- 4.地域経済や企業、デジタル技術やデータ分析についての高い関心
- 5.自身が関心をもつことがらについて主体的に探究していく力
- 6.他者と協働しながらひとつのことを成し遂げる力

選抜の基本方針

1. 一般選抜(前期日程)

大学入学共通テストの評価により、合格者を決定します。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴、公民、数学、理科、情報から高得点の2教科の得点を採用します。これにより、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

なお、合否ボーダーライン層については、上述の考え方による大学入学共通テストの得点に加え、書類審査(調査書及び活動報告書)により「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し、これらを総合して合格者を決定します。

2. 一般選抜(後期日程)

合格者の決定は、大学入学共通テストと面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴・公民、数学、理科、情報から最も高い点数の1教科の得点を採用し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。また、面接により、本コースにおいて主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。

3. 学校推薦型選抜(一般推薦)

合格者の決定は、総合問題及び面接の評価を総合して行います。総合問題では、課題文や図表等を読み、理解した上で、論理的に思考し、的確に表現することを求める記述・論述式の問題を出題します。これにより、本コースにおいて経済学、経営学、デジタル技術やデータ分析を学修するために必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力が身についているかどうかを評価します。また、

面接により、本コースにおいて主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。

4. 総合型選抜(自己推薦)

合格者の決定は、総合問題及び面接の評価を総合して行います。総合問題では、課題文や図表等を読み、理解した上で、論理的に思考し、的確に表現することを求める記述・論述式の問題を出題します。これにより、本コースにおいて経済学、経営学、デジタル技術やデータ分析を学修するために必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力が身についているかどうかを判定評価します。また、面接により、本コースにおいて主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。

各選抜方法における求める力(評価する力)

【◎:特に重視する ○:重視する】

区分		選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	
		書類審査			○
	後期日程	共通テスト	◎	○	
		面接	○	○	◎
学校推薦型選抜	一般推薦	総合問題	○	◎	○
		面接	○	○	◎
総合型選抜	自己推薦	総合問題	○	◎	
		面接	○	○	◎

※特別選抜(社会人、帰国生及び私費外国人留学生)については、P54(島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する特別選抜における「選抜の基本方針」)を参照ください。

【国際関係学部・地域政策学部】 共通事項

島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する
特別選抜における「選抜の基本方針」

選抜の基本方針

■社会人特別選抜

合格者の決定は、小論文と面接の評価を総合して行います。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぶとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

■帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文と面接の評価を総合して行います。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぶとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

■私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、日本留学試験、小論文及び面接の評価を総合して行います。日本留学試験では、基礎的な日本語能力及び基礎学力を評価します。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぶとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

①社会人特別選抜、帰国生特別選抜

選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と協働して学ぶ態度
小論文	○	◎	
面接	○	○	◎

②私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と協働して学ぶ態度
日本留学試験	◎		
小論文	○	◎	
面接	○	○	◎